

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

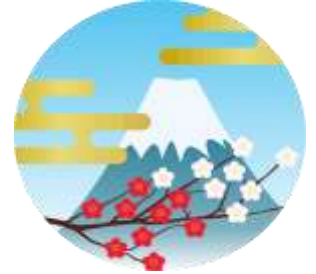
横浜ウェーブ

第188号

トピックス

新年のご挨拶

施設長 竹内恵子



新年あけましておめでとうございます。

この状況下においても、横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設事業の実施に協力して下さった皆さまに、心より感謝申し上げます。

この間、情報提供施設事業も「新しい生活様式」に沿った変化や対応を求められましたが、サービス向上に繋がった事柄もいくつかありました。意思疎通支援事業では、臨時の対応として遠隔手話通訳を導入した他、相談事業では、緊急事態宣言中に訪問活動が制限されたことをきっかけに、LINEのビデオ通話機能を使った遠隔相談を開始し、現時点で約120人の登録があり、日々ご利用いただいています。また、市長定例記者会見に手話通訳が配置されたことも良い変化でした。

感染拡大の第三波が収束する兆しは未だ見えず、気持ちが休まらない日々が続きますが、引き続き利用者、通訳者、職員の感染予防を第一とし、安心してサービスを利用していただけよう努めてまいります。お気づきのことがありましたら、いつでも遠慮なくお知らせください。

皆さまにとって、明るい一年となりますよう。今年もどうぞよろしく願いいたします。

相談事業

【実施報告】

高齢聴覚障害者のための健康学習会



11月16日(月)、障害者スポーツ文化センターラポール上大岡にて、高齢聴覚障害者を対象とした健康学習会を実施しました。

上大岡との協働は初の試みとなり、内容も上大岡ならではのプログラム構成にしました。また、高齢の聴覚障害者に合わせた内容を意識しながら準備を進めてきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、定員を15人に絞って開催。参加者は11人で、最高齢は94歳でした。皆さんこの日を楽しみにとても張り切っていました。まずは、スポーツ指導員による軽運動を行いました。椅子を使用した足の上げ下げや、反復立ち上がりなどの運動を全員でやってみたところ、参加者の皆さんの健脚ぶりに驚きました。次に栄養士による栄養学習会を行いました。新陳代謝についてのお話を中心に、筋肉を作るために必要な食べ物について学びました。学習会終了後、参加者から「もっと色々聞きたかった」「また開催してほしい」との感想を頂きました。次回は、2021年1月18日(月)に開催する予定です。

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設は、12月29日(火)から1月3日(日)までお休みです。

相談事業

【実施報告】 講座「聞こえと補聴器」

今年も講座「聞こえと補聴器」(横浜市障害者社会参加推進センター、横浜市中途失聴・難聴者協会、横浜市健康福祉局主催)が開催されました。

11月13日(金)には当施設の相談担当職員から補聴器や日常生活用具の支給といった福祉制度の案内や、聴覚障害者情報提供施設の役割、そして「聞こえの相談事業」について話をしました。

本事業では、横浜市リハビリテーションセンターの言語聴覚士と連携し、適切な補聴器装用のための助言や補聴器のフィッティング(調整)、福祉制度の案内、補聴器相談医や認定補聴器技能店の情報提供等を行っています。この講座をとおして多くの方に本事業について知っていただき、聞こえないことによる不安や不便の解消につながればと思っています。



派遣事業

【実施報告】 要約筆記者研修(手書き/パソコン)

【新人研修】

今年度の要約筆記者新人研修は、感染拡大の影響により、8月によろやく開始することができました。パソコンは全7回、「連係入力」の練習を中心に実施。また、最初に派遣されることの多い養成講習会を本番さながらに設定し、模擬通訳を行いました。

手書きは全5回、会議や学校の保護者会などさまざまな現場を想定した研修を行いました。OHCではチームでの動きの確認を、ノートテイクでは利用者に見やすい書き方などを学びました。

研修がなかなか始まらず、受講生は不安もあったかと思いますが、熱心に取り組みられました。これからの活躍を期待しています。



【現任研修】

現任研修は半年遅れて9月からのスタートとなりました。この間要約筆記者の派遣数も減少していたため、「しばらく派遣に出ておらず久しぶりの関係で戸惑った」という声がパソコン通訳者から多く聞かれました。また、利用者や通訳者同士が近くに座ることの多い手書きでは、いかに密を避けて対応できるか、その方法を具体的に検討し共有しました。

新しい生活様式における通訳方法は今後も継続的に検討が必要な課題です。要約筆記者として、感染予防をしながら、的確な情報保障ができるよう、考えていきたいと思っています。

令和2年度登録手話通訳者研修について



8月から段階的に登録手話通訳者初任者研修を開始し、今年度予定している研修全28回中、23回を無事に終了することができました。9月までは、密にならないように大会議室を利用し、参加者それぞれ十分な距離をとり、検温や手指消毒はもちろんのこと、マスクを着用して研修を行ってきました。

10月からラポールの施設利用の拡大に併せ、早速ラポールシアターで手話通訳者全体研修を行いました。11月からはオンライン(Zoom)での研修を開始し、初任者研修や全体研修、課題別研修と回を重ねています。新しい形での実施方法として、集合形式では、感染防止対策を十分に行い、密を避ける会場を確保していきます。

今後も、可能な限りオンライン形式の研修ができるように計画していきます。実施状況を時機に応じて報告します。



手話通訳者 ブラッシュアップ研修

ブラッシュアップ研修は、過去2年間行っていた小グループ研修の内容を再検討し、今年度から新規事業として実施しました。

「ろう者によりよく伝わる表現を磨く。表現技術のレベルアップを図り、現場の通訳に生かせるようにすること」を目的に、全3回、外部講師（NPO法人手話教師センター）をお招きして研修を行いました。

受講者を15人に限定し、各回それぞれ違う課題を動画撮影しました。講師は、一人一人の動画を見て、手話表現についてなど丁寧に指導をしていただきました。受講者各自の課題が明確になり、表現技術を見直す大変良い機会となりました。



手話通訳者 全体研修



11月28日（土）午前中に標記研修を実施いたしました。講師は沖縄聴覚障害者情報センターの川上恵氏です。

今回はZoomを用いて沖縄と横浜を繋げ、オンラインで視聴する形で進めました。オンラインでの研修は初の試みでしたが、大きなトラブルもなく約90人が視聴しました。また18人の方にはラポールボックスで視聴していただきました。

講演のテーマは、「手話通訳のあり方」～現場から感じること～。講師は、日本で唯一のろう通訳士（全米手話通訳者登録協会の資格）としても活躍されており、ろう通訳者の活動内容や現場で感じたこと、また今後の課題なども話してくださり、とても有意義な研修でした。

非常勤手話通訳者 専門研修

■ 10月19日（月）「東京手話通訳等派遣センターの現状と通訳現場対応力の向上」

東京手話通訳等派遣センター事務統括の江原こう平氏を講師として迎えました。派遣センターの事業や体制、また、コロナ禍での通訳者の派遣についてのお話をうかがい、横浜市以外の派遣制度を知る良い機会となりました。

さらに、最近目にする機会が増えているテレビ通訳・会見通訳で求められる通訳技術についても注意点などをお話いただきました。通訳者の現場対応力については、通訳現場で陥りやすい課題や問題を例にどのように調整を行うかなど、多岐に渡る内容をお話いただきました。今年度は、専門研修の聴講は無しの予定でしたが、Zoomによる聴講を試験的に行い、42人が自宅から聴講しました。

■ 11月28日（土）「重いケース場面でのコミュニケーション支援に関する事例検討」

午前の全体研修に引き続いて、沖縄聴覚障害者情報センターの川上恵氏を講師として迎え、オンラインで事例検討を行いました。

ガンなど重い病気の告知や、精神疾患を持つ方のカウンセリング等の対応が難しいコミュニケーション支援の現場では、常に「この対応でよかったのだろうか」と通訳者として思い悩むことも多くあります。「現場で起きたことをどのように受け止めて対応していくか」など、講師のファシリテーションのもとで意見を交わしました。通訳者として適切な対応・行動をするためには、当事者の背景や教育、生活、言語などを分析する力が必要だと気づかされる内容で有意義な研修となりました。

普及・啓蒙事業

浜の会茶話会に参加しました

12月14日(月)「浜の会 茶話会(於:横浜市西区福祉保健活動拠点フクシア)」に参加しました。スタッフも含め約15人が参加していました。

当施設からは相談担当と派遣担当の職員が参加し、先日11月16日(月)に行われた健康学習会への参加のお礼と、次回の案内、冬のお知らせや、年末年始休館時の派遣に関するお願い、FAX119の使い方や、「もしも手帳」の配布と説明など情報提供を行いました。

特に、年末年始休館時の派遣依頼ができるかどうかを気にされている方が多く、対応方法についての詳しい説明を行いました。(できるだけ日にちが決まっているものは早めに派遣申し込みをしてもらうこと。休館中の急病については、FAX119など使って救急車を利用するなど。)

今後も定期的に参加し情報提供を行い、当施設の利用につなげていきたいと思っております。

出た!データ!

(11月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

| 内容 | 手話通訳 | 要約筆記 | 合計 | 昨年同月 | 相談事業 | 実件数 | 対応数 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|
| 医療・保健 | 3,465 | 78 | 3,543 | 4,209 | 医療 | 95 | 193 |
| 司法 | 15 | 0 | 15 | 39 | 職業 | 29 | 51 |
| 教育・保育 | 258 | 4 | 262 | 665 | 教育 | 2 | 2 |
| 労働・雇用 | 187 | 0 | 190 | 586 | 住宅 | 28 | 48 |
| 社会生活 | 1,033 | 26 | 1,059 | 1,385 | 生活 | 124 | 225 |
| 自己啓発 | 43 | 11 | 54 | 180 | 福祉 | 150 | 262 |
| 福祉推進 | 420 | 168 | 588 | 1,683 | 法律 | 15 | 49 |
| 相談員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 聞こえ | 4 | 4 |
| 他都市 | 24 | 4 | 28 | 140 | 合計 | 447 | 834 |
| 合計 | 5,445 | 294 | 5,739 | 8,887 | 昨年同月 | 445 | 862 |
| 昨年同月 | 7,579 | 1,308 | 8,887 | | | | |

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

| 手話 | 回数 | 24 | 参加人数 | 526 | 自主制作作品数 | 46 |
|------|----|----|------|-----|---------|----|
| 要約筆記 | 回数 | 19 | 参加人数 | 240 | | |

情報の動き



11月

- 4日 手話ブラッシュアップ研修
- 4日 聞こえと補聴器講座(1/3)
- 7日 手話課題別研修
- 9日 手話1年次研修
- 10日 全館電気点検日
- 11日 要筆現任研修
- 13日 聞こえと補聴器講座(2/3)
- 14日 手話課題別研修
- 15日 県ろう者大会式典(戸塚公会堂)
- 16日 衛生委員会
- 16日 聴覚障害者対象健康学習会

- 17日 手話2年次研修
- 17日 要筆新人研修
- 24日 要筆新人研修
- 28日 手話全体研修・専門研修
- 28日 聞こえと補聴器講座(3/3)

12月

- 1日 手話課題別研修
- 4日 手話登録委試験準備(横聴協)
- 5日 手話登録試験(横聴協)
- 7日 手話1年次研修
- 8日 視聴覚機器点検
- 9日 要筆現任研

- 11日 防災機器点検
- 14日 迷子運営委員会
- 14日 非常勤手話通訳者会議
- 18日 手話講習会運営委員会
- 21日 衛生委員会
- 22日 健福局業務監察
- 23日 主管局定例会
- 25日 事業団研究発表会
- 28~1/4 ラポール休館
- 29~1/3 情休休業

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェーブ》

発行日: 令和2年12月28日

発行者: (社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>